

2023. 1. 吉日
多賀工業会(茨城大学工学部同窓会)
水戸勝田支部

イベント開催のご案内

特別講演会「写真で綴る！ 常陸国一千三百年 名桜の系譜」開催

拝啓 新春の候 会員の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、標記の件、特別講演会を下記の通り開催致しますので、万障繰り合わせの上、ご家族・ご友人をお誘い合せ、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 **令和5年2月25日(土) 13:30-15:30 (開場 13:15)**
2. 開催場所 **茨城県水戸生涯学習センター (旧県庁3階) 中講座室**
住所：水戸市三の丸1-5-38 電話：029-228-1313
(自家用車) 無料駐車場完備
(電車) 水戸駅下車 徒歩10分
3. 講演会 演題：**「写真で綴る！ 常陸国一千三百年 名桜の系譜」**
講師：**坂野 秀司 様** (常磐百景主宰、水戸桜川千本桜プロジェクト幹事)
4. 配布資料(無料) 平成春場所 茨城一本桜番付 同 (幕内以上の写真版)
偕楽園桜型録 茨城の桜(筑波山の桜の写真 宗祇の名所千句入り)
茨城県の桜ダイジェストスライドショー(講演のポイント)
5. 参加料金 **無料**
6. 定員 **36名 (先着順)**
7. 申込先 **①氏名 ②卒年学科 ③同伴人数・同伴者氏名**を記入し e-mail (または SMS) で
下記まで申込み下さい。
【申込先】 本澤 壽郎 thonzawa@kta.biglobe.ne.jp (090)7181-8046
坂場 英太 eit-sakaba@mth.biglobe.ne.jp (090)2408-4312
8. 講演内容 奈良時代の「筑波山の花見」に始まり、平成時代の「偕楽園左近の桜」に至る、茨城の桜の系譜には1,300年の壮大な歴史がある。坂野秀司氏が心血を注いで桜の名所を訪ね歩き、各地で撮影した桜花爛漫の世界を、大画面に上映し、解説を加えながら、「茨城の名桜の系譜」を振り返ります。
9. お願い事項 **コロナ感染症防止のため、マスクを着用の上ご来場ください。**

以上

(別紙)

『茨城一本桜番付 平成春場所』 彰往考来 発表について

桜を大相撲番付に^{なすら}準えて掲載する桜番付というものは、日本人の趣向に合うようで、古くは江戸時代からありました。今から約 100 年前の大正 8 年東京新聞に掲載された『**全国大桜番附**』(浅田 澱橋)はその代表的な例といえます。幹周り一丈(約 3m)以上の桜の巨木百本が厳選されたその番付には、茨城県の名桜が 8 本も掲載されています。大正末期から昭和初期にかけて茨城県の名木を調査して記録した『**茨城県巨樹老木誌・上下巻**』(関右馬允・昭和 11 年, 15 年)には大変貴重な当時の写真が多数収録されています。そして、それらの桜を名誉横綱、昔日の名巨樹として据えながら、昭和末期に全盛を誇った桜を調査して番付表にした

『**茨城桜見立番付**』(川上千尋・昭和 58 年)は、未来に残すべき貴重な資料といえるでしょう。このような各時代を彩る桜の記録から、常陸国 1300 年の時代と人々が繋いできた桜史、そして近代の桜風景を垣間見ることができるのです。

^{しょうおうこうらい}彰往考来(過去を明らかにして未来を考える)の精神を骨子としている水戸桜川千本桜プロジェクトは、歴史を継承した植樹活動を行っている団体です。代表の稲葉先生から日々ご教示いただいている茨城県と日本の桜史からは、それまで私の中で点と点であった桜が確実な線で繋がっていく様を見せられており、茨城県の桜には誇るべき伝承と継承があることを知りました。

『**櫻**』(三好学・昭和 13 年)や『**櫻史**』(山田孝雄・昭和 16 年)などの有名な文献においても、茨城県の桜とそれらを継承してきた偉人の存在感は別格です。奈良時代『常陸風土記』の筑波山の花見に始まり、平安時代の常陸桜川から江戸時代の水戸桜川への流れ、八幡太郎義家公や親鸞^{ぼんだ}の伝承、そして、光圀公や斉昭公の桜愛、藤田東湖万葉の桜からの明治・大正・昭和の時代に至るまで、ここに挙げればきりが無いほど、茨城県の桜は全国に影響をもつ壮大な歴史で繋がっているのです。川上千尋氏が発表した『茨城桜見立番付』は昭和時代の集大成ともいえるものです。私はその平成版、つまり、平成時代の集大成として桜番付を引き継ぎ、記録に残したい、その一心で平成 24 年から茨城県内の名桜古桜を訪ね歩き、取材撮影を重ねてまいりました。

これまでの各文献は、樹齢や幹回り、樹高や品種、天然記念物指定と言った学術面での希少価値を基準に構成されているものがほとんどです。しかし、平成版の桜番付では、それらの基準も踏襲しながら、更に、知名度や周りの風景との調和性や存在感などを踏まえ、現代的な要素としての写真映えも意識しました。そして、何よりもその桜が存在する理由、つまり、桜に秘められた歴史や伝承、桜を植えた人々の想い、慈しみの心と桜守の存在、そして、誇るべき桜史の一場面が浮かび上がってくるような構成を目指しました。

制作にあたり審判委員のお二方に改めて感謝申し上げます。平成 29 年秋には昭和番付選者の川上千尋先生にお会いしました。先生は直接桜の古木の素晴らしさを説いて下さり、更には、平成版『茨城一本桜番付 平成春場所』にお墨付きを頂きました。平成の桜番付は、大正時代の関右馬允先生から続く、茨城県の桜の記録としての継承、ひとつの到達点であると自負しております。

多くの方々がこの『**茨城一本桜番付 平成春場所**』を手にとってくださり、平成の桜の素晴らしさを未来へ語り継いでいただけたら嬉しいです。

2023 年 1 月

常磐百景代表

水戸桜川千本桜プロジェクト幹事
水戸桜川日本花の会幹事

坂野秀司



『茨城一本桜番付 平成春場所』